



陽光

令和6年12月5日 第17号 文責 梶原 圭一



「ともに学ぶ」集団宿泊教室

11月14日(木)から11月15日(金)の2日間、5年生が菊池少年自然の家で集団宿泊教室を行いました。学校を離れ、自然豊かな自然の家で、野外及び室内で、なかまと共に様々な体験学習を行うことを通して、協力すべきところは協力しながら自主的に活動する力を育むとともに、集団生活のきまりを守り、規則正しい生活を送る態度を育てることを目的に実施しました。

ニジマスを自らつかみ、塩焼きにして食べる活動や、敷地内をグループで協力しながらめぐり、クイズに答えていくQハンティング、夜の山道をグループで歩くナイトハイクなど、日頃の生活では経験できない活動の中で、互いの絆を深めていきました。また、友だちの気持ちを思いやりながら自分はどのように行動すべきかを考えたり、なかまと共に行動するために必要なルールやマナーについても学んだようです。

この体験学習で学んだことことを日頃の生活に活かし、さらに「ともに(共に)学び、ともに(友に)学ぶ」中部小の子どもたちへと成長していつてくれることを期待しています。



芸術鑑賞会「森は生きている」

11月22日(金)に、文化庁の舞台芸術等総合支援事業として、本校で学校巡回公演が行われました。オペラシアター「こんにやく座」の方々をお迎えし、オペラ「森は生きている」を全校児童が鑑賞しました。子どもたちの様子を見ていましたが、徐々にお話の世界に引き込まれ、前のめりになって鑑賞していました。また、次々と変化する舞台演出のすばらしさに魅了されていることが伝わってきました。

この公演に向けて、1か月ほど前に劇団から3人の方が来校され、劇中で歌われる曲を教えてくださいました。音楽の時間を中心に各学級で練習を重ね、公演の際に一緒に歌い、ともにオペラ劇を作り上げることができました。

11月15日(金)には、学校における文化芸術鑑賞体験推進事業で6年生が菊陽町総合体育館で劇団・風「ジャンヌ・ダルク」を鑑賞しました。このように素晴らしい文化芸術に触れる機会をいただいていることをありがたく感じますし、この体験を通して、子どもたちの心もさらに豊かさを増していくだろうと思います。



こうどうりょく

「考動力」を磨く火災避難訓練

11月19日(火)に火災避難訓練を行いました。以前、東京で発生したホテルでの火災事故を教訓に、毎月避難訓練を実施しているというテレビ番組を見ました。災害に出会ったときに人はパニックを起こしてしまうので、どんな時でも変わらない行動をとることができるよう繰り返し繰り返し訓練を行っているそうです。学校でも様々な想定で避難訓練を実施していますが、いざという時に、自ら**考**え、**行**動できる**力**を磨いていきたいと思ひます。



【お知らせ】 12月13日(金)のオープンスクールの後に、家庭教育学級講演会を予定しています。講師として『はなちゃんのみそ汁』の著者である 安武 信吾 様をお迎えし、「食べることは生きること」という演題でご講演いただきます。当日は、120人以上の保護者の方に参加していただけると聞いております。みんなで学び合ひましょう!